

V O J A J E

Agosto 18, 2017
土井先生の活動日記
Honduras Vol.2

子ども達は世界共通

みなさんお元気ですか。厚岸では2学期が始まった頃ですね。こちらはホンジュラスに着いて3週目が終わろうとしています。語学研修もあと1週間を残すのみとなりました。ホンジュラス生活にも慣れました。シャワーが冷たいことと、洗濯物を石けんで洗うから、タオルがカピカピになること、よく停電することがネックなんですが・・・。

先日、サンタエレナという小さな集落にある小学校に行ってきました。なんとその小学校は複式学級。しかも1～6年生までが同じ教室で、先生が1人。児童は20名ほど。だから1つの教室にホワイトボードが六角形のように置いてあり、先生がローテーションでまわって授業を行うという形式。しかも授業は午前中で終わるとか。でもま、学校まで歩いて1時間かけて来る子もいるので、仕方がないのかもしれない。



2回訪問する機会があったので、1日目は日本の紹介をしました。まだ日本人が足を踏み入っていない学校だったので、当然子ども達は日本の事をほぼ知りませんでした。幸い日本車を多く見かけるので、TOYOTA, HONDA, NISSAN, MITSUBISHIなんかは知っていました。2日目は日本の小学校でやっているグループ活動をやってみました。遊びに対する興味は世界共通で、追いかっこや鬼ごっこ、じゃんけんはやはり好きみたいです。最後は日本の歌として「ビリーヴ」を教えました。日本語のままでは読めないで、スペイン語に近いアルファベットに直して、それを映しながら一緒に歌いました。意味が分からないと歌えないので、意味はスペイン語に訳してから。何人かは歌詞のポジティブさが気に入ったのか、アンコールで一緒に歌った子もいました。「たとえば君が傷ついて、くじけそうになったときは、必ず僕がそばにいて支えてあげるよその肩を・・・」と。みんなも合唱頑張ってるね！

